

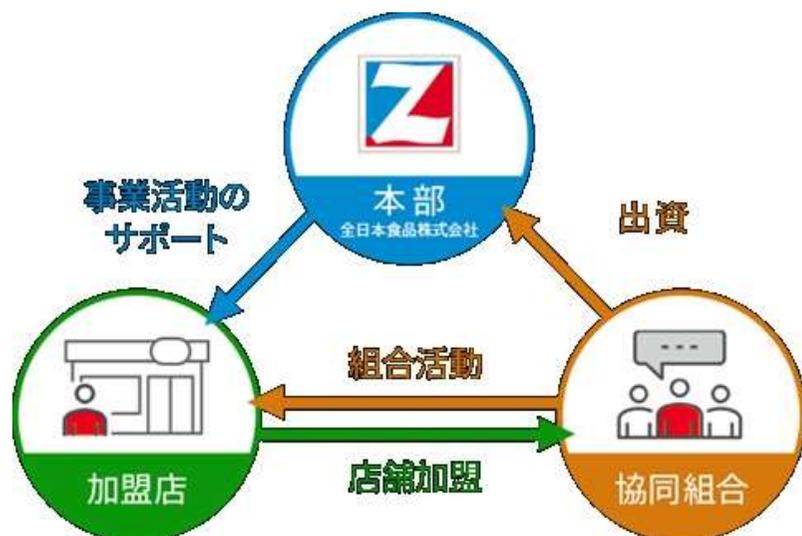
中小企業分野の構造改革徹底推進会合

ボランティアチェーンの情報活用

2020年4月13日

一般社団法人日本ボランティアチェーン協会 名誉会長
全日本食品株式会社 相談役
齋藤 充弘

1 全日食チェーンについて



「三者対等な関係」



商品調達
10万点
以上

共同仕入れによる低価格調達を実現。
商品・仕入れサポート

チェーンの
強みを
最大限に

全国店舗データを基づいたアドバイス
店舗サポート

売り上げ
アップ
アドバイス

購買行動のデータに基づく各種施策
販売サポート

ハイテクで
効率化と販促

店舗運営をハイテクで支える
情報システム

2 情報活用の事例

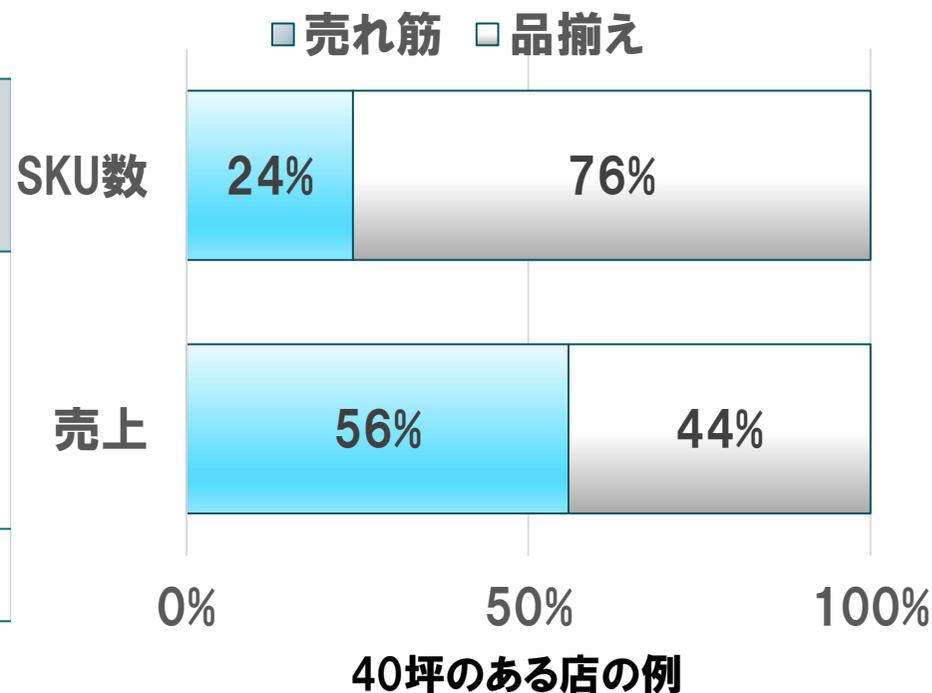
情報を分析して「精度」と「効率」の高い店づくりを目指している

事例その1 品揃え

A地方の全加盟店の加工食品

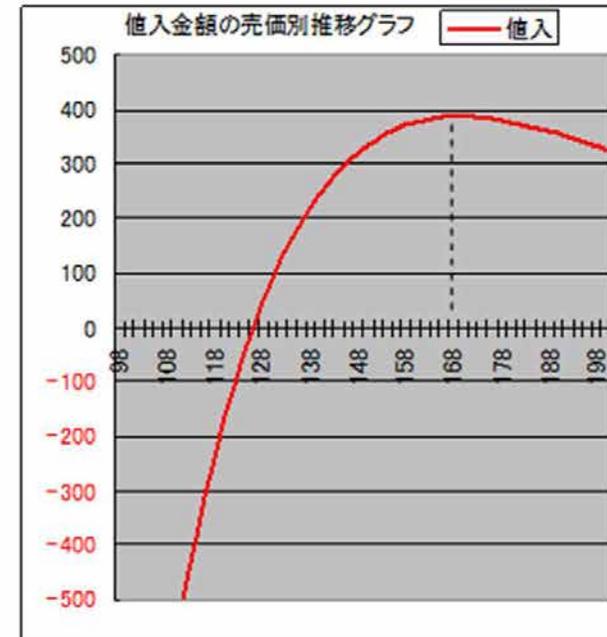
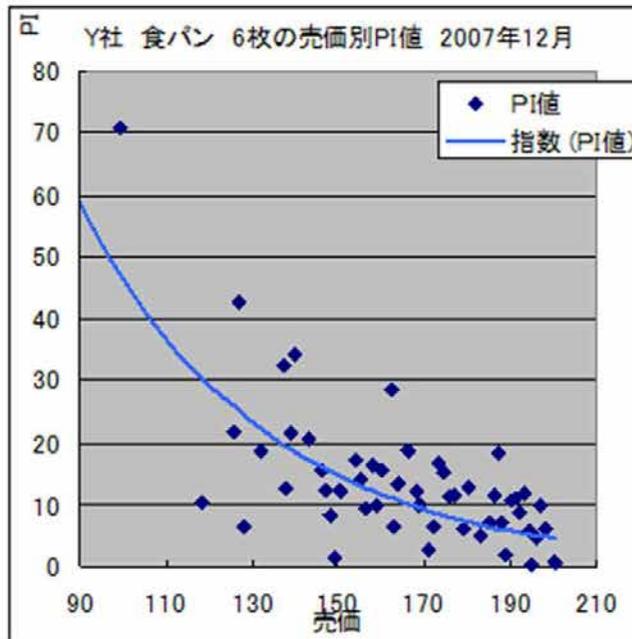
PI	扱い率 →		総計
	40%以上	40%未満	
10%	57	43	100
50%	599	1,188	1,787
以下	859	11,280	12,139
合計	1,515	12,811	14,326

売筋商品の単店実績(加工食品)



2 情報活用の事例

事例その2 売価



最適売価の算出方法

1) 加盟店のPOSデータを、全国の地域別に単品ごとに集計して売価別の平均PIを算出してデータベースを作成します。

2) 前記の売価別のPI値のデータから近似値曲線を求めます。

商品別に b と m を算出

$$PI = bm^x \quad x \text{は売価}$$

3) 前記の値上後のPI値の算出式に 提供原価 N を代入すると、その利益額は

$$P(x) = (x - N)bm^x \quad \text{で算出できます}$$

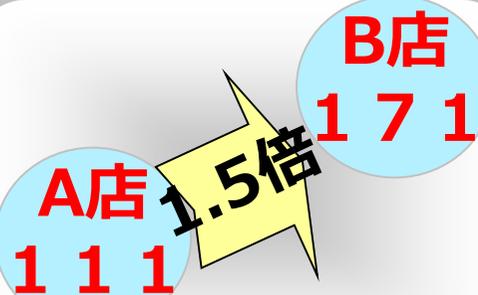
2 情報活用の事例

事例その3 発注

【あるヨーグルトの販売実績(10日間)】

	A店	B店	対比
客数	851	815	96%
販売	11	17	154%
PI	13	21	161%

売価・客数とも同様



店A				
販売数	納品数	在庫	売価	時刻最終
21	15	0	108	15
9	10	1	108	17
8	10	3	108	14
13	10	0	108	16
10	10	0	108	16
7	10	3	108	15
13	10	0	108	15
10	10	0	108	16
10	10	0	108	11
10	10	0	108	11
111	105			

【店Aの発注：手動発注】
毎日10個発注している。
欠品日が多い。

店B				
販売数	納品数	在庫	売価	時刻最終
15	23	20	108	17
25	7	0	108	17
10	15	5	108	19
21	25	9	108	16
18	12	3	108	19
20	20	3	108	17
10	19	12	108	17
9	21	24	108	18
14	10	20	108	18
29	9	0	108	16
171	161			

【店Bの発注：自動発注】
毎日ばらばら。
在庫が残るよう発注している

2 情報活用の事例

事例その4 販売促進(FSP-1)

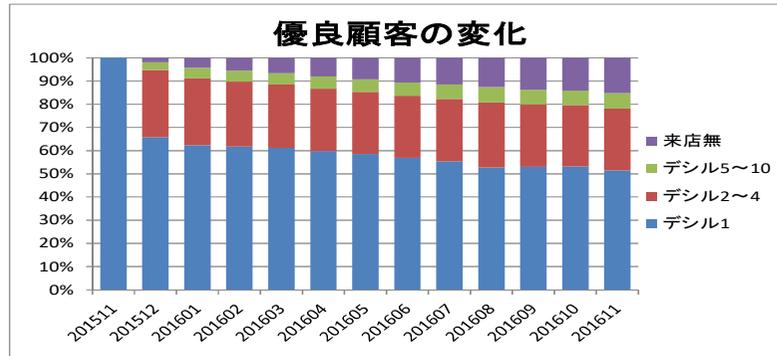
お得なサービス (顧客別販促)



2 情報活用の事例

事例その5 優良顧客の離反防止(FSP-2)

優良顧客の購買実績から10ヶ月後に離反しそうな顧客を予測するAIを構築



クーポンを発券することで
9.5%離反率改善



優良顧客
(月8回以上来店)

基礎分類購入数量
来店回数、来店頻度
購入カテゴリ数 etc.



AIによる離反パターンの
発見・予測

離反

(月3回以下来店)

非離反

(月4回以上来店)



AIによって将来離反につながる顧客の特徴をキャッチし
予測を行いクーポンを発行します

2 情報活用の事例

事例その6 令和元年10月1日対応

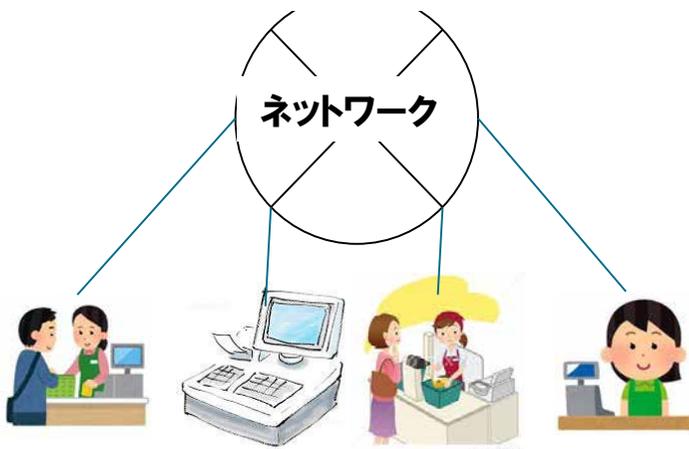
軽減税率対応

本部で、各加盟店のマスタを一括管理。
店舗での変更作業は、値札の張替だけ！
商品価格・税率変更の自動化
軽減税率関するシステム切り替えや
教育・運用などは、SVの指導と動画で対応



マスター一括管理

ネットワーク



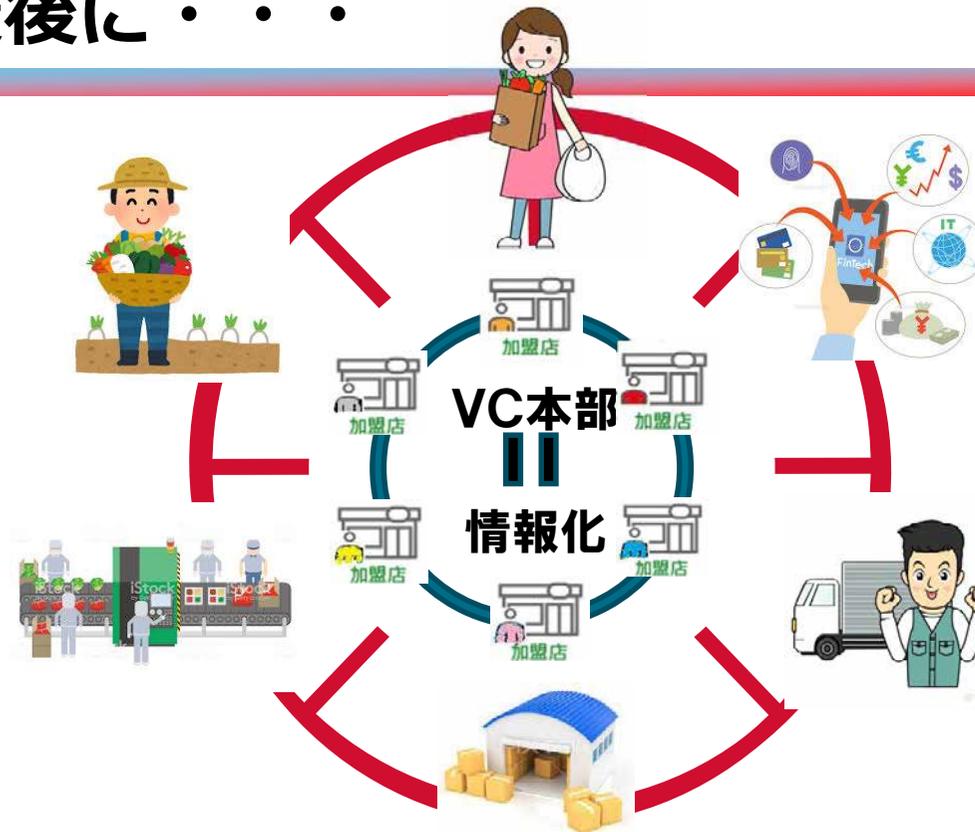
キャッシュレス消費者還元事業

既存会員決済種グループ別前年対比
令和2年2月実績

決済種	会員数		人数 構成比	売上 前年比	客数 前年比	
	顧客グループ	昨年				今年
いつも キャッシュレス	C L	C L	31,318人	7%	103%	101%
キャッシュレスに 変化	現金	C L	84,732人	19%	115%	110%
いつも 現金	現金	現金	323,122人	74%	100%	99%
合計			439,172人	100%	103%	102%

キャッシュレスの効果は
【15%以上】

3 最後に・・・



情報の利活用が「生産性の向上」に必須ですが、情報は単独では限界があり、水平にも垂直にもネットワークされてこそ その有効性は大きく広がります。店舗とお客様・仕入先・製造業者・生産者・物流・金融・その他とネットワークされた情報環境の中で、中小といえども事業が行われる社会が来ているのだと考えます。

ご清聴ありがとうございます。